



「きょうから1ねんせい」

29P

明日へのふしぎ
百歳まで元気に

26P

アンケート調査
生活が一変

6P

令和3年度予算
不測の事態に備え

2P

前川小 校外学習
交流人口を増やす



模擬議会 7つの質問 町民の声は

2月8日、前川小学校6年生7人が議会を訪れ模擬議会を体験しました。
これは毎年行われていますが、3月で閉校となることから最後の開催となりました。

どう聞くの？



まりあ
佐藤 麻李亜 議員

問 議会では話し合う内容を、どのように選んでいますか。



はると
村上 陽飛 議員

問 町おこしのために、どんなことをしていますか。また、これからの予定は。



ゆうた
佐藤 悠太 議員

※当日は欠席



とわ
矢吹 瞳和 議員

問 議員のやりがいについて教えてください。



なる
大宮 成 議員

問 議会では話し合うときには、何人で行っていますか。



むつき
大宮 睦輝 議員

問 議会では話し合うときには、議員の他にどんな人が参加するのですか。



わこ
坂上 わこ 議員

問 議会では、町民の声を聞くために、どのようなことをしていますか。



なぎ
佐藤 凪 議員

問 町の税金は、何に一番使われていますか。

ときをもどそう

これまでのプレゼンテーションの一部を紹介します



令和元年度 卒業生 議会情報便 No.218

テーマ 「豊かな自然を生かして老若男女が
つながり、みんなに愛される町」

- 農業体験を受け入れる
- 川を生かして大会を開く

平成30年度 卒業生 議会情報便 No.214

テーマ 「わが町の未来」

- 町民バスの土・日曜日運行
- 子どもの施設利用 優遇
- 名所でウオーキング



平成29年度 卒業生 議会情報便 No.210

テーマ 「未来をえがき今やるべきこと」

- 雪を活用したイベント開催
- 自然の利用で インスタスポットを
- インスタ映えで食べ物紹介

平成27年度 卒業生 議会の情報 No.202

テーマ 「私たちの願いを実現するために」

- アンケート調査での問題点
- 青根地区の活性化を「桜の植樹を」



平成25年度 卒業生 議会の情報 No.194

議会見学 「前川小学校と川崎第二小学校6年生合同」

児童の声

- 議場設備にびっくりしました
- 貴重な体験で楽しかったです

※ H26・H28は開催していません。

私たちが考えた 三つの提案

川崎町の課題

「人口減少」を解決するために…
交流人口増 で活性化を！！

① 田んぼアートで



② 閉校後は図書館も

- レストラン経営 地産地消、雇用創出
 - 図書館 公民館から一部機能移転
- メニュー：私たちが食べた学校給食



提案を受けて

町の課題を的確に捉え、地域の立地条件を活かすとともに、長年お世話になった学校活用で交流人口増を図る考えに感銘しました。
児童の描いた町の未来像を実現するため一般質問を行いました。(関連p21)

今後も模擬議会への参加校をお待ちしています

※写真は前川小で作成したものを掲載しています。



感染を防ぐために
学校施設消毒事業
483万円



ポンプ車の更新
防災対策事業
2457万円



新型コロナウイルス ワクチン接種
疾病予防事業
3935万円

3月
会議

会議は、9日から18日に開きました。提案された議案は、条例改正等11件、
新年度予算案8件、令和2年度補正予算案7件、人権擁護委員の人事案1件、
追加議案で新年度補正予算案1件と副町長の人事案1件を慎重に審議し、原案
どおり可決しました。
一般質問には7人が町政を質しました。

令和3年 生活優先で不測 新たな生活



中止事業
支倉常長まつり
レイクサイドマラソンなど



中原住宅の建て替え等
町営住宅整備事業
8978万円

度 予算 の事態に備え 様式に向けて



農作物被害の抑制
有害鳥獣対策事業
3029万円



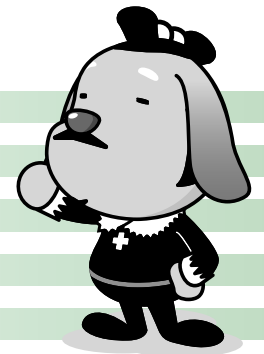
地場産業強化
農業担い手育成事業
350万円

すべて
可決

新年度 予算

総額 93億

1953万円



R3年度 特別・事業会計予算

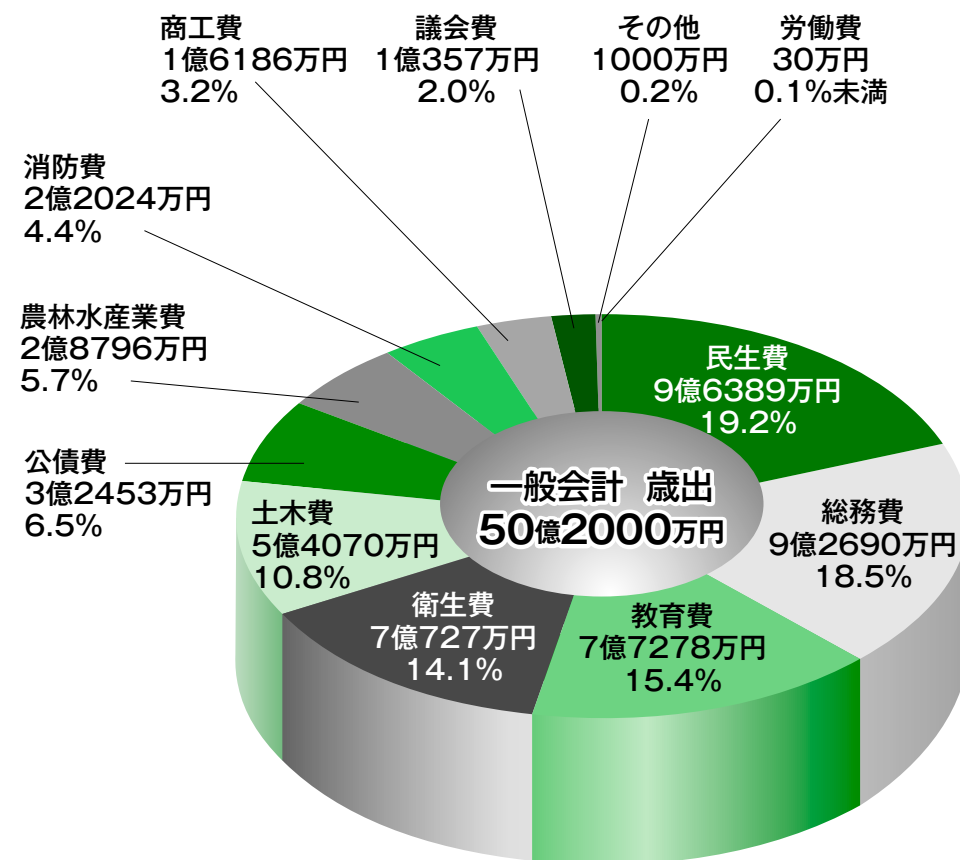
		対前年度増減率
国民健康保険特別会計	11億944万円	4.8% 減
後期高齢者医療保険特別会計	8820万円	1.8% 減
介護保険特別会計	11億3900万円	0.5% 増
温泉事業特別会計	1483万円	3.3% 減
公共下水道事業特別会計	5億3290万円	30.0% 増
病院事業会計(支出)	9億6714万円	1.2% 減
水道事業会計(支出)	4億4802万円	21.4% 減

歳出の 特徴

新型コロナウイルス感染症経費、病院の減収補填、消防車両の購入など住民が安心、安全に暮らせるための予算措置となっています。また、各種イベント中止など町民の感染防止対策をとっています。



目的別歳出の割合は民生費が1位となっています。5位の土木費までの順位は昨年と同じになっています。4位の衛生費が昨年より7500万円の増額となっています。

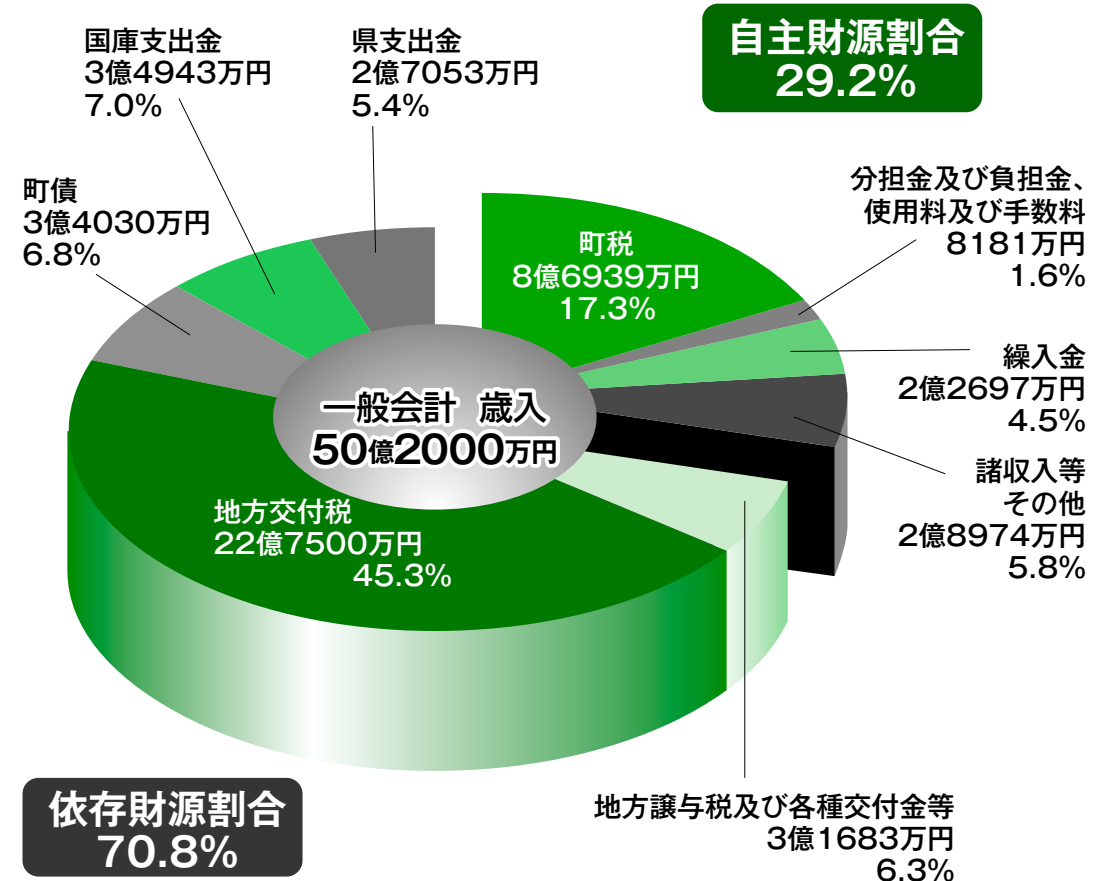


歳入の 特徴

一般会計当初予算額は前年当初予算と同額となっています。歳入は自主財源割合が1・8%の減少(町税や繰入金が増加しています。国庫支出金および地方交付税が減少しています。)



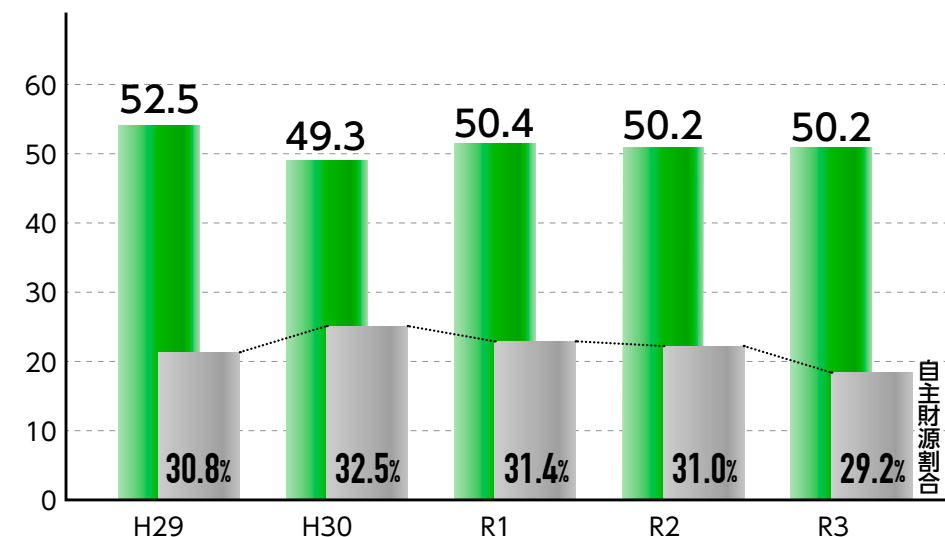
町税 固定資産の減税措置により減収
ふるさと納税 寄付額4000万円の増額
財政調整基金繰入 翌年度以降の財源確保のため取り崩し額の抑制



依存財源割合
70.8%

自主財源割合
29.2%

一般会計当初予算の推移 単位:億円



協力隊の増員は

運営の見通しは

神崎委員

佐藤(昭)委員

問 協力隊により町の活性化対策が進み、起業も増えています。費用は全額補助ですので、当町の魅力をアピールするため、また移住定住を図るためにも増員すべきと考えますが計画はありますか。

答 協力隊の期間が終了しても、引き続きその仕事に就いて町に定住していただけるよう、ある職種に絞って募集しています。

令和3年度に向けて4名募集しています。

問 シルバー人材センターの運営の見通しを伺います。
保健福祉課
答 国庫補助金の交付を受けられることになり、町補助金を大幅に減額することになります。しかし、国から受け取る補助金と同額以上を町も交付しなければならぬ規定になっています。



令和3年度 予算審査

クーポン券事業は

ICT化の推進を

高橋委員

沼田委員

問 コロナ禍で、昨年行った「ふるさと応援商品券」や「宿泊クーポン」の発行は町民の方から好評でした。今後もう予定はありますか。

答 町民や地元のことを考え、どのような取り組みが必要なのか検討していきます。

問 ICT化の推進は、職員の勤怠管理や職務の効率化、環境資源の保護に向けて、積極的に取り入れるべきと考えますが。

答 町民や職員のためにも効率よく仕事をしていただけという、国の動向を見ながら進めていきます。

令和3年度の各会計予算を審議するため特別委員会を設置しました。委員長に眞幡善次委員、副委員長に遠藤雅信委員を選任し、3月12日から16日にわたり審議しました。その中で出された質問の一部を紹介します。

ここが聞きたい 予算特別委員会

減額が少ないのでは



▲元気に遊ぶ子どもたち

問 児童教室業務委託について、令和3年度より、児童教室が4箇所から3箇所になりました。減額が少ないのではないですか。

答 川崎教室を充実させるための職員増や放課後児童支援員の待遇改善などを図っているためです。



問 東日本大震災以降、施設の耐震工事は施されているものの、今回の地震により本庁舎をはじめ各施設で損傷が見受けられます。建て替えや修繕は考えていますか。

答 危険度を確認しながら修繕をしていく予定です。

建替えや修繕を



▲待たれる修繕

正確な情報提供を

問 新型コロナウイルス感染症対策でワクチン接種が行われますが、体制は整っています。ワクチン配布計画が日々変化しています。町民に正しい情報を提供し接種率向上に努めるべきと思いますが。

答 ワクチン配布については日々情報の変化がありますが、正確な情報が入り次第、町のホームページを更新し情報を発信します。また区長会議では毎回その時々最新の情報を報告しています。



▲更新された防災マップ

防災マップの改正点は

予算減少は

問 防災マップが更新されましたが、変更点は、また今後どれくらいの頻度で更新していきますか。

答 災害の発令基準の改正や土砂災害危険箇所が新たに増えたことなどが、主な改正点となっています。今後基準等の改正により定期的に更新していきます。

問 マイナンバーカードの取得を推進しているのに、予算が減少しています。大丈夫ですか。またPRは万全ですか。

答 交付に必要な機材はそろっていますので大丈夫です。PRは広報紙での周知を行っています。

大会運営に向けて

問 コロナ禍のなか、安心安全の見地から、各種事業の見直しやイベントの中止も決定しています。再開に向けて、事業規模や大会運営の調査研究を進めていくべきと考えますが。

答 さまざまなイベントを実施したいのはやまやまです。まずはワクチン接種事業を進めながら、移住定住、ふるさと納税の魅力を伝えたいと思います。イベントについても今年1年調査をしながら対応していきます。



▲再開が待たれるイベント

リモート会議の体制は

神崎委員

問 新型コロナウイルスの影響でリモート会議が増えています。体制は整っていますか、総務課

答 庁内のWi-Fi環境整備がほぼ完了しており体制は整っています。令和2年度から、リモート会議は行っています。



▲再活用している旧小学校

源泉は大丈夫か

佐藤(昭)委員

問 2月の地震の影響で青根温泉の温度や湯量に変化があったと聞いています。花房の湯は青根温泉の生命線です。現在の状況は、建設水道課

答 地震の影響で水位は安定していない状況ですが、源泉は止まっています。温度は2度ほど下がりましたが、50度程度で供給しています。



▲体制が整ったリモート会議

委託はいつまで

佐藤(新)委員

問 廃校施設によるまちづくり促進事業業務委託が令和2年度と同額の1600万円計上されていますが、いつまで計上するのですか、地域振興課

答 3年間となっており、令和3年度が最後になります。



▲憩いの場、青根温泉

城の整備は

佐藤(清)委員

問 文化財保護費で山城調査がありますが、今後どんな計画をして整備するのですか、生涯学習課

答 令和3年度は前川本城の測量を予定しています。今後も前川本城跡、上楯城跡、小野城跡を地域の方々と草刈りなど整備していく計画です。

基金の運用は

的場委員

問 基金はどのような運用をしていますか、総務課

答 すでに電力債や宮城県債を購入し、基金の運用を行っています。



▲地元産のおいしい米

返礼品の検討も

高橋委員

問 ふるさと納税が増額されていますが、返礼品を増やしたのですか。また、地元の農家等が潤うような返礼品を考えていますか、地域振興課

答 増額計上した理由は、返礼品を増やしたこと以上に、委託先を増やし、より多くの人達の目に触れることから増額を見込んでいます。返礼品も川崎産牛肉などを検討しています。

ICT化で業務の効率化を

ICT化を進めていますが、町民へのサービス向上と職員等の業務の効率化に向けて、積極的に取り入れてください。



▲町民サービスのために

自主財源確保を

自主財源確保のため魅力ある返礼品の種類を増やすことにより、ふるさと納税利用者の拡大を図ってください。また、基金運用についても継続的に検討してください。



▲町内製造のイヤホン

ワクチン接種向上を

ワクチン接種はコロナウイルス感染症抑止につながります。町民には正しい情報を提供し、ワクチン接種率の向上に努めてください。



▲スムーズな接種を

議発案 議会から町へ

6項目

協力隊の増員を

地域おこし協力隊の活動は町の活性化や起業につながります。当町の魅力をアピールするため増員も含めて検討してください。



▶活性化や起業の拠点

計画的に修繕対策を

東日本大震災以降、施設の耐震工事が行われていますが、これまでの余震により、本庁舎や各施設でも被害が見受けられます。計画的に修繕対策を講じてください。



▶各所に被害

開催に向けて検討を

コロナ禍で各種イベントを中止していますが、感染状況と感染防止策を考慮しながら、次年度以降の開催方法等について検討してください。



▶にぎわいを再び

3月議会

新年度予算のほかに、条例の制定や一部改正案、令和2年度の各会計補正予算案を慎重に審議し、原案どおり可決しました。また、副町長の選任、人権擁護委員の推薦に同意しました。

再生可能エネルギー発電設備に関する条例

自然環境と共生促す

■提案理由

再生可能エネルギー事業が町の自然環境と共生することを目指し「川崎町の環境と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例」を制定するものです。



▲ソーラー発電施設は地域の生活や安全に配慮を

質疑

適用範囲は

佐藤(昭)議員

問 工事中の事業も適用されますか。

答 工事中は適用外地域振興課長

答 3月31日以前に着工した事業は適用外です。

水質が心配だが

佐藤(新)議員

問 農業の使用で、水質への影響が心配です。確認し指導・監督

地域振興課長

答 影響の有無を確認しながら、指導・監督していきます。

すべて可決

補正 R2年度 主な会計予算 事業精査確定による

	補正額	予算総額
一般会計	3億1465万円 減	61億5279万円
■ 提案理由	コロナ関連事業や各種事業の事業確定及び各特別会計への繰出金等の精査により減額するものです。	
国民健康保険特別会計	7716万円 減	10億9988万円
■ 提案理由	一般療養給付費や高額療養費の事業確定及び各種事業の精査により保険給付費等を減額するものです。	
公共下水道事業特別会計	706万円 減	4億282万円
■ 提案理由	事業精査により下水道管理費を減額するものです。	

町中心部と釜房湖周辺 景観条例制定

■提案理由

良好な景観の保全などを目的に、行為の制限など、景観事業を推進していく基本事項を定めるものです。

質疑

既に規制があるが

佐藤(昭)議員

問 釜房湖周辺は県の自然環境保全地域の規制がありますが、内容は同じですか。

町も関与することに建設水道課長

答 同じ内容ですが、町も指導監督できるようになります。

人事案件

副町長(新任)



おくやま たかあき
奥山 隆明 さん
(仙台市)

任期 令和3年4月1日から
令和7年3月31日まで

人権擁護委員(再任)



おおぬま
大沼 ひとみ さん
(本荒町)

任期 令和3年7月1日から
令和6年6月30日まで

補正 R3年度 一般会計予算 600万円補正

福島県沖地震で被災福祉センター復旧へ調査設計費

■提案理由

2月13日の福島県沖地震で健康福祉センターの源泉槽や受水槽、給水設備等が破損したため、工事発注に向け設計管理業務の委託費600万円を補正するものです。



▲破損した源泉槽

2月議会

一般会計補正予算

ワクチン先行接種

360万円

■補正内容

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種で、医療従事者と65歳以上の先行接種者計800人に対する経費360万円を増額するものです。



▲本番に備えて

大雪で除雪費大幅増加

2000万円

■補正内容

寒波による降雪量の増加に伴い、除雪経費が不足する見込みとなったため2000万円を増額するものです。



▲出番が増えた除雪機



佐藤 昭光 議員



▲青根街道は紅葉の中に枯れ木が

問 ナラ枯れの現状は

答 青根道沿いに大きな被害

幹の太いナラ類の古木を枯らす「ナラ枯れ」が青根地区でも発生しています。地元住民から「観光道路の景観を守ってほしい」と、早期対策の要望が出ています。当町の被害状況を伺います。

問 青根国道沿いの被害が目立ちますが。
答 町 長 令和2年度の調査で腹帯から青根温泉に通じる国道周辺で被害1330本を確認しました。町内では平成21年ごろから発生が確認されています。

問 ナラ枯れの原因と、これまでの対応は。
答 町 長 「カシノナガキクイムシ」という昆虫が病原菌を運んで木を枯らす伝染病です。平成29年度から町管理の公園などで伐採やナラ枯れ防止剤の注入をしています。

問 ナラ枯れが町内に伝染した理由は。
答 農林課長 気候変動や里山の放置が要因と考えます。

問 面積の8割を占める森林は町の誇りです。対応を急ぐべきでは。
答 農林課長 多くの予算が必要となります。まずは広域的な対策や連携体制を築くことが重要です。国や県等と情報共有を図り、注意深く見守っていく必要があります。

問 スキー場貸付金の返済は

答 100万円以上の見込み

問 今季は降雪に恵まれたスキー場ですが、令和2年に貸し付けた3000万円の返済見込みは。
答 町 長 返済期間は令和5年5月31日までですが、昨季と同様、100万円以上の返済を見込んでいます。

問 ウインターシーズン^{※1}とグリーンシーズン^{※2}の収支状況は。
答 町 長 双方合わせて200万円の黒字を見込んでいます。
問 スタッフなど従業員の雇用状況は。
答 町 長 雇用者総数でウインターシーズンは84人、グリーンシーズンは21人です。

問 スキー場経営にコロナ禍の影響は。
答 地域振興課長 入込数と飲食部門で影響がありました。具体的には、入込数で約1万人の減、飲食部門では座席数を3割減らしたこともあり68%の減収を見込んでいます。



7人の議員が質問

町政を問う



一般質問は町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

- ◆ 佐藤 昭光 議員 17
 - (1) ナラ枯れの現状と対策
 - (2) スキー場の運営状況
- ◆ 的場 要 議員 18
 - (1) 風しん抗体検査・予防接種
 - (2) 施政方針（道の駅構想）
- ◆ 遠藤 美津子 議員 19
 - (1) フレイル対策で改善
 - (2) 防災・減災対策
- ◆ 佐藤 清隆 議員 20
 - (1) 良質な保育・教育
 - (2) 複式学級の現状と今後
- ◆ 神崎 安弘 議員 21
 - (1) 子育て支援施策の検証
 - (2) 前川小6年生からの提案
- ◆ 遠藤 雅信 議員 22
 - (1) 新型コロナワクチン接種
 - (2) 移住・定住促進
- ◆ 高橋 義則 議員 23
 - (1) 高校生に通学補助

※アクリル板を設置しているため、表情が見えにくい場合があります。



議員 要 場 的

問 可能性が道の駅に

答 検討委員会で議論

問 施設方針では、道の駅構想について「現在の状況を踏まえた上で、原点に立ち返り建設の可否から議論する必要があるだろう」と考えております」とあります。この判断に至った経緯は。

答 町長 道の駅構想に言及したのは、平成31年の新年挨拶会並びに平成31年3月議会の施設方針です。コロナ禍もあり、大きな財政負担が必要となる政策だからこそ、腰を据え客観的な検討が必要であるとの思いに至りました。

問 ふるさと納税返礼品を町内で購入できる体制をつくる必要が必だと思えます。その可能性が道の駅にあると考えますが。

答 町長 現在、町内で購入できない酒類も含め、道の駅のような形であればできるのかどうか、これからの検討委員会でも議論していきます。

問 さらなる働きかけを

答 流行防止を図る

厚労省では平成31年4月より原則無料で行うことができるクーポンを発行し「風しん抗体検査・予防接種」を実施しています。

問 町内対象者897人のうち受診者は1月請求時まで126人、約14%と非常に少ない状況です。国が公費負担で進める重要な事業ですので、しっかり抗体検査・予防接種を受けていただく必要があると考えますが。



▲生まれてくる赤ちゃんを守るために

問 自主防災組織の現状は。

答 町長 町内22行政区のうち12行政区で防災組織が設立されています。

問 避難所運営マニュアルの現状と今後の取り組みは。

答 町長 新型コロナウイルス感染症に対応したマニュアルを策定し10月に改訂を行っています。適宜マニュアルの改訂を行っていきます。

問 避難行動要支援者の現状と今後の取り組みは。

答 町長 避難行動支援計画の策定までは至っていない状況です。今後計画策定のプロセスにおいて関係者と情報の共有を図り、実効性の高い支援対策を実施していきます。

問 今後のフレイル対策の施策は。

答 町長 現行の事業を継続しつつ、サポーターの育成や地域協働事業へのさらなる支援を進めます。また、新たに70代向けのフレイル対策教室も検討していきます。

問 保健福祉課長 フレイル予防対策は非常に重要な事項だと認識しています。重点的かつ横断的に介護予防事業の一環として取り組んでいきます。

問 フレイル対策で介護予防

答 重要事業として取り組む

フレイルとは筋力が衰えた高齢者が介護を必要とする一歩手前の状態のことです。介護予防につながるためにもこの状態からの改善が重要です。

問 コロナ禍における高齢者の現状把握は。

答 町長 訪問や聞き取りを通して実態把握に努めています。活動への参加控えが目立っており健康二次被害が懸念される場所です。

問 コロナ禍のフレイル対策の実施状況は。

答 町長 マスクを配布しながら状況確認を行い、適切な健康管理の指導を実施しています。



▲元気まんてん介護予防教室

問 コロナ禍での防災対策は

答 マニュアルを改訂

避難行動支援計画の策定までは至っていない状況です。今後計画策定のプロセスにおいて関係者と情報の共有を図り、実効性の高い支援対策を実施していきます。



議員 津 美 遠 藤



佐藤 清隆 議員

問

良質な保育・教育を

答

働きやすい環境の整備

保育士不足が叫ばれるなか、当町においても確保が困難な状況にあります。今後も質の高い幼児教育を継続させるには、「働きやすい環境の整備」も必要であり、多様な人材の確保にもつながると思います。

問 近年の募集人数に対する応募数と採用数は。また、退職者数は。
答 町長 毎年若干名として募集しており、ここ10年では受験者数33名で、一次合格者は17名、採用者数は11名です。また、この間の退職者は10名です。

問 より多くの方に応募いただき、その中から採用を行えるよう応募者を増やす工夫は。
答 町長 経験等を有する幅広い年齢層から確保を図るため、受験資格年齢を引き上げています。今後は保育教諭を養成する大学等と、保育・教育実習の受け入れなどを通じて、関係強化を図っていききたいと考えています。

問 安定的に専門職を確保するため、町独自の支援策を打ち出す考えはありますか。
答 町長 支援策は結論には至っていません。現職員との整合性を考えながら、いま一歩踏み込んで検討していきます。

問 離職者を防ぐために、働きやすい環境の整備も必要と考えますが。
答 教育長 休日出勤の振替は100%実施し、時間外勤務は最高で月13時間程度に押さえるなど、適正に行っています。また、職場内で相談できる環境の整備に努めているところです。

答

今後の入学者数による

問

各校の複式学級の現状は

問 一部の学校では複式学級が行われています。今後の見通しは。
答 教育長 現在、第二小の3・4年生で行われておりますが、富岡小では今後の入学者数によっては複式学級になるか、境目の状況が続きます。

問 先を見据えて計画的な学習環境の在り方を、保護者とともに議論を深めていっては。
答 教育長 当町ならではの地域資源、人材を活用した学習環境の提供を行っていきます。



▲より良い学びの場を

問

子育て支援策の検証は

答

地域性を活かす

子育て支援について近隣市町にさきがけて事業を行ってきました。施政方針で、「子育て支援を行い安心して子育てができる環境づくりを推進していききたい」と述べています。

問 これまでの検証は。
答 町長 第2期川崎町子ども・子育て支援事業計画を策定するため検証しています。104の施策は概ね達成され、保護者アンケートでも高評価を得ています。

問 課題はありますか。また、今後は。
答 町長 保護者アンケートでは、遊具等の充実した公園整備、交通の利便性など地域格差への意見があります。現代のニーズも見極め、地域性を活かした事業に取り組めます。

問 子育て世代の年齢であつても支援に該当しない町民がいます。結婚や出生率向上策が重要と考えますが。
答 町長 年間出生数40人前後で横ばい状況。婚姻率も低調推移で大きな課題です。施策事業がすぐに少子化対策につながらないとしても、安心して子育てができるよう取り組んでいきます。



▲見晴らしの良い場所も

問

提案を活かす考えは

答

盛り上がりが大切

前川小学校6年生の校外学習がありました。
① 田んぼアートで観光と誘客。
② 閉校後の学校活用で交流人口を増やす。人口減少を町の課題と捉えプレゼンテーションがありました。

問 田んぼアートは、近隣では角田市西根地区で取り組んでいます。田んぼアートで町おこしをする考えは。
答 町長 地域主導で企画・運営されています。地域の盛り上がりや協力体制がなくては、進めることは難しいと思います。取り組みには、後方から支援を行いたいと思います。

問 閉校後の活用は、「地産地消による給食等を再現したレストランや公民館内にある図書など一部を移転し利用しては」と提案されました。今後の考えは。
答 町長 地域住民が参画できる仕組みを作るなど最低でも1年間は必要と認識しています。地域住民が主役となり得る施設になるよう対応していきます。



神崎 安弘 議員



遠藤 雅信 議員

問 ワクチン接種計画は

答 国からの情報を迅速に

2月1日の議会全員協議会で町民へのコロナワクチン接種を8月末までに完了したい旨の、説明がありました。収束が見えない現状のなか、ワクチンの入荷が遅れているなどの報道に、町民は心配している状況です。

問 最新のワクチン接種計画は。
答 町長 3月9日現在、国から確かな供給日等の情報が示されています。接種体制の準備はほぼ完了していますが、クーポンの郵送時期や予約の受付開始時期等の調整ができない状況です。情報が入り次第、迅速に発信します。

問 介護施設や在宅で介護されている方々への接種方法は。
答 町長 介護施設については、施設の医師や嘱託医師により各施設で接種を受けることになります。また、在宅介護の方はかかりつけ医に相談のうえ、接種方法を検討していただき、いない場合は、町が調整することになります。

問 個人医院でも接種可能となっていますか。調整は進んでいますか。
答 保健福祉課長 スムーズにワクチン接種ができるよう、現在、協議を重ねている状況です。なお、個人医院は電話予約等により調整し、接種する取り扱いとなります。

問 介護に従事されている方も同時に接種できますか。
答 保健福祉課長 特例的に入所者等と同じタイミングで従業員の接種も行うことが可能となっています。しかし、効率的であるか、医師等による接種後の健康観察が可能かなどの要件を満たす必要があります。

問 介護に従事されている方も同時に接種できますか。
答 保健福祉課長 特例的に入所者等と同じタイミングで従業員の接種も行うことが可能となっています。しかし、効率的であるか、医師等による接種後の健康観察が可能かなどの要件を満たす必要があります。



▲SPRINGで気軽に相談

問 こども園を利用する3歳児以上の保育料は無料です。若い世代の移住・定住を促進するために、3歳児未満まで拡大する考えは。
答 町長 コロナ禍により税収の減収も予想されることから、無償化の拡大は困難であると考えています。

問 空き家バンクを活用して、家族で活用できる規模の農地を斡旋するなど、新たな取り組みを考えては。
答 町長 移住・定住を促進するために何がなか、空き家バンク利用者や関係課の意見を参考に、新たな取り組みも含め検討していきます。

問 移住・定住の拡充は

答 意見を参考に

問

高校生に通学補助を

答 通学奨学金制度を検討

施政方針のなかで、「子ども・子育て支援事業を着実に実行されるなか、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を図っていく」と述べています。今後、若い世代に移住してもらうためにも高校までの支援が必要と考えます。



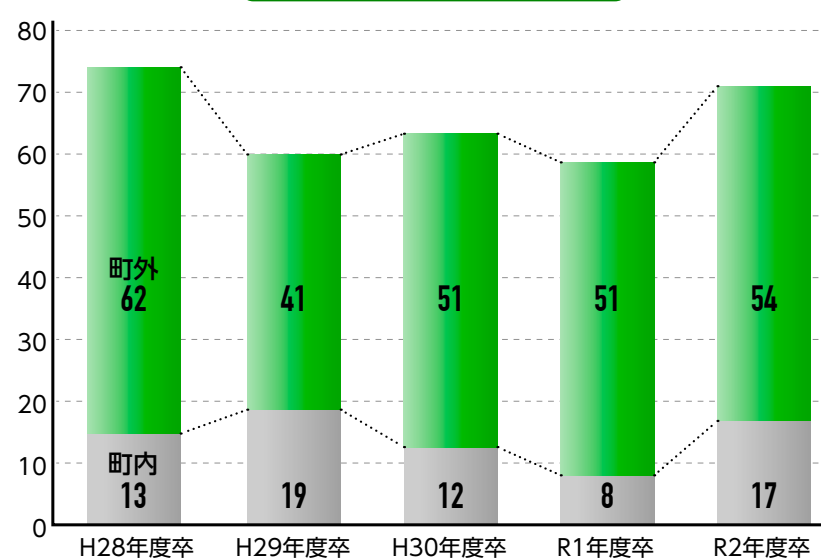
▲通学に欠かせないバス

問 子どもは自分の夢と希望をかなえるため他市町の高校を選択しています。しかし今は、コロナ禍のなかで親の負担は大変なものになっています。通学補助を考えるべきでは。
答 町長 約8割の生徒が町外に進学していると思われれます。保護者の通学費負担は大きなものと想像できますが、限られた財源で現在の子育て支援を考えており、今すぐの通学補助の導入は難しいと考えています。

問 子どもは自分の夢と希望をかなえるため他市町の高校を選択しています。しかし今は、コロナ禍のなかで親の負担は大変なものになっています。通学補助を考えるべきでは。
答 町長 約8割の生徒が町外に進学していると思われれます。保護者の通学費負担は大きなものと想像できますが、限られた財源で現在の子育て支援を考えており、今すぐの通学補助の導入は難しいと考えています。

問 例えば、仙台市まで学割を使っても1カ月3万円弱、3カ月の割引、回数券でも8万円以上の負担です。若い世代の負担軽減、移住される方の決断の決め手となるような支援を考えては。
答 町長 財政的には通学補助を出すことは難しいと考えています。また、柴崎校の存続や公平性という観点からも難しいので、通学奨学金制度というようものを検討していくのが現実的と考えます。

中学生の進路先内訳



問 テレワークにより、どこでも仕事ができる環境にある今、高額な通学バス代がネックとなり、若い世代の移住が進まないことも考えられます。人口増に転じる思い切った政策を。
答 町長 コロナ収束のために国は多額の予算を使っています。地方交付税の減額も考えられ、今後の行政運営等は厳しくなると考えています。まずはコロナから町民を守ります。通学奨学金制度を考えていきます。

問 テレワークにより、どこでも仕事ができる環境にある今、高額な通学バス代がネックとなり、若い世代の移住が進まないことも考えられます。人口増に転じる思い切った政策を。
答 町長 コロナ収束のために国は多額の予算を使っています。地方交付税の減額も考えられ、今後の行政運営等は厳しくなると考えています。まずはコロナから町民を守ります。通学奨学金制度を考えていきます。



高橋 義則 議員

総務民生常任委員会

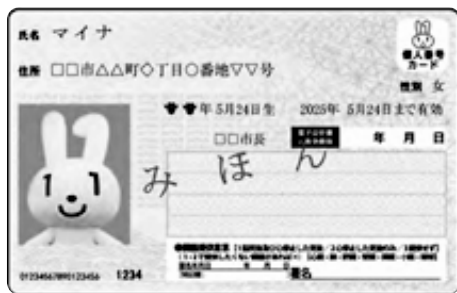
調査日 2月16日

調査事項①
マイナンバーカード積極的対応を
引き続き交付率向上を

【調査結果概要】

マイナンバーカードは、平成28年1月から交付が開始され、令和2年1月末現在の交付件数は744件で交付率8・4%、県内35市町村中、33番目でした。

しかし、令和2年度から延長窓口やマイナンバーカード等の申請サポートの実施により、令和3年1月末の交付件数は1551人で交付率17・9%、25位まで上昇、伸び率は県内2番目となりました。



▲積極的に取得を

【委員会意見】

コロナ禍で積極的な交付率向上対策を実行するには大変難しい現状です。

しかし、カードの取得による将来的なメリットも含め、行政手続きの効率化や利便性等、さまざまな情報を町民に提供し関心を持っていただき、理解

国民健康保険の現状は

さらなる医療費抑制を

調査事項②

【調査結果概要】

平成30年度から国民健康保険は、「県単位化」に移行しました。その結果、国の財政支援の強化等により国保会計は改善傾向にあります。なお、国保被

保険者数は令和元年度末現在2100人で人口の24・3%を占め、うち65歳以上の前期高齢者は48・5%の状況です。被保険者数は毎年減少するも、前期高齢者数の割合は増加している現状です。

医療費については、被保険者数の減少等の影響を受けて減少しているものの、高齢化や医療の高度化等により一人当たりの医療費は増加傾向にあります。



▲県単位化で改善も…

【委員会意見】

県単位化により国保事業は改善傾向にあるものの、国の財政支援がいつまで継続されるか不透明です。

支援が縮小された場合、基金の取り崩しや保険税の値上げも検討する必要があります。しかし、コロナ禍で

も基金の確保に努めるとともに、保険税の急激な上昇は避ける必要があると考えます。

超高齢化社会にあり、さらに医療費の抑制策と生活習慣病等の予防対策が重要となります。引き続き予防対策等に努めてください。

産業建設教育常任委員会

調査日 2月19日

調査事項①
遊休農地の現状について
関係する課で連携を

【調査結果概要】

農業委員会では農地の規定に基づき毎年1回、農地の利用状況を調査し、遊休農地の所有者等に対する意向調査を実施しています。

近年、大規模農家では耕作面積を増やすこ

とが困難な農家も増えていることや農業従事者の高齢化、後継者不足により利便性の悪い農地を中心に耕作放棄地等、遊休農地が増加

している現状です。

農業委員及び農地利用最適化推進委員は、各地域の情報共有しながら、農地の適正管理が継続的に行えるよう積極的に賃借等の相談、仲介に取り組んでいます。



▲遊休農地を活用

【委員会意見】

認定農業者や担い手の高齢化、規模拡大の限界感等もあり農地集積や遊休農地解消は年々難しい状況となっています。遊休農地の解消は農業委員会だけでなく農林課や地域振興課などと連携した対策が不可欠です。改めて農業施策について検

証し、早急に必要な対策を講じてください。また、他町から農地を求められ遊休農地解消につなげた事例が全国農業新聞で紹介されました。この事例を町内外にPRし、遊休農地活用や就労支援につなげてください。

調査事項②
町有林の現状について
引き続き適正管理を

【調査結果概要】

約80%を占める山林のうち町有林は約9%で1840杉を有しており、森林整備計画等により「植林・間伐・下刈り・防除対策等」の計画的な推進とその

基盤となる林道等の維持管理を実施しています。

ここ10年は国の方針もあり間伐を中心に整備を行ってきましたが、令和元年度より新規植栽を始めている現状です。また、平成31

年に森林経営管理制度が始まり、適正に管理が行われていない私有の針葉樹林については、令和2年度に森林所有者に対して意向調査を実施しています。



▲植栽で森林を再生

【委員会意見】

町有林整備に対する年間予算は1500万円前後で推移し、補助事業等により計画的に進めています。引き続き町有林の適正管理に努めてください。また、森林面積の約47%を占める私有林のうち、適正に管理が行われていない森林は、意向調査

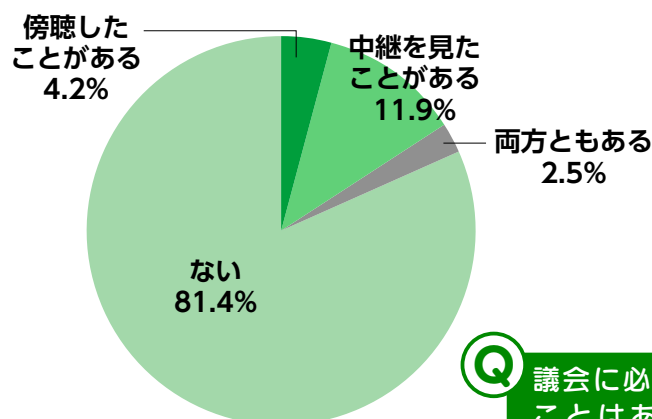
に基づき管理方針を検討することになります。積極的に管理指導にあたってください。なお、令和元年から森林環境譲与税の交付を受けていますが、森林管理の一部に活用できることから積極的に活用してください。

国の交付金

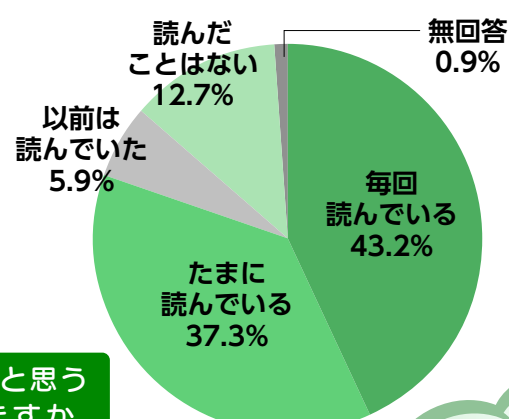
有効活用を



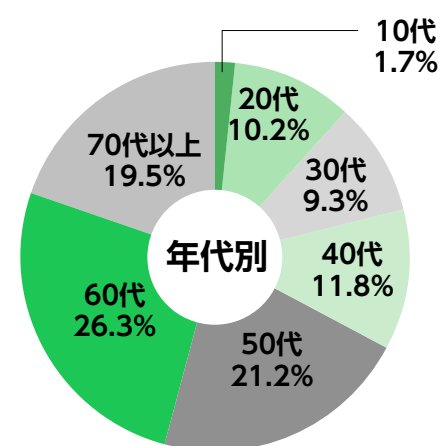
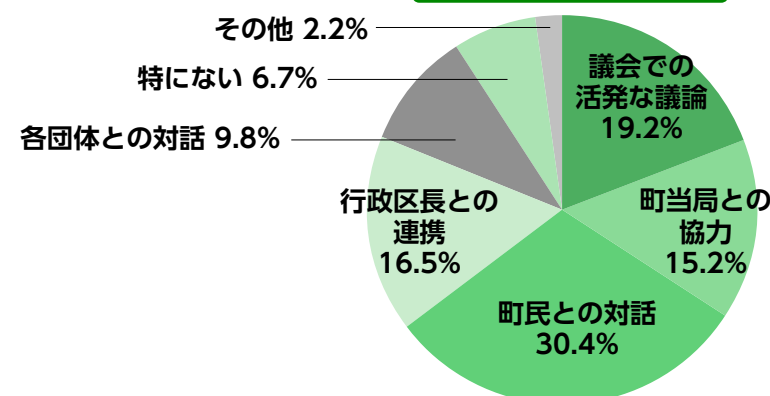
Q これまで議会を傍聴したことや、ライブ中継（録画も含む）を見たことがありますか。



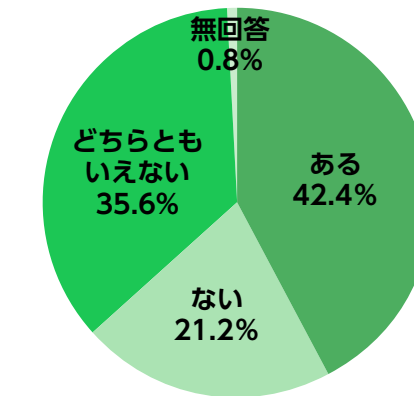
Q 議会では「議会情報便カワサキ」を年4回発行しています。読んだことはありますか。



Q 議会に必要だと思ふことはありますか。（複数回答可）



Q 議会活動あるいは議員に関心はありますか。



アンケート概要
 送付総数 350人
 送付対象 10代から70代以上の7年代50人ずつを無作為に抽出
 期 間 2月2日発送
 2月22日締切
 回答者数 118人
 33.7%
 男女比 均等に抽出



議会広聴・広報委員会では、コロナ禍で町民の皆さまに直接意見をお伺いする「意見交換会」等が実施できないため、コロナ対策事業等、町民の皆さまから意見・要望を聞くためのアンケート調査を実施しました。ご協力、大変ありがとうございました。

意見・思い
 コロナ対策事業をはじめ、さまざまな意見をいただきました。その一部を紹介します。

- コロナ対策事業をこんなにやっているのに、残念ながら努力が見えていません。（70代女性）
- 事業者だけでなく、労働者への支援も検討してほしい。（60代男性）
- 去年は学校のプールが使用中止となり子どもの成長に不安でしたが、B&Gプールを利用できたのでありがたかった。（40代女性）
- 特定の業種に保証が偏らないようにしてほしい。（30代男性）
- 国からのコロナ対策交付金を有効に活用してほしい。（60代女性）
- 感染症対策の専門的部署を新設し、十分な対応ができる体制整備を望みます。（40代男性）
- 空気清浄機購入事業の予算が6500万円以上で高すぎる。（40代男性）
- オンライン学習の整備も進んでいて安心しました。（30代女性）
- 個人商店のキャッシュレス支援は無駄です。（40代男性）
- 仕事が減っている。商品券をもう一度配布してほしい。（60代男性）
- コロナだけでなく農業やほかの分野でも議論してほしい。（40代男性）
- 議員の地域での活動が見えない。（70代女性）
- 高齢者が生活に必要な資金を得られる職場が必要。（60代男性）
- 川崎町で子育てをしていきたいと思える若い人達が増えるよう、活発な議論を期待しています。（30代女性）



長年の東京暮らしのあと、故郷の浪形に戻り、飲食店を開業しました。「健康寿命を延ばすのは、体に良い食事があってこそ」という「玄米食店 花の浪亭」の大宮仲夫さんをご紹介します。

健康食を勉強

Q 故郷に戻って一念発起、起業したわけは。
A 大病院の医師と親しく、健康食の勉強をしていたので、妻の死を機に故郷で開業し、町民の皆様にも食の大切さを知っていただくと思いました。

安全安心な材料

Q 具体的にどんなメニューに力を入れていますか。
A 玄米ご飯と生魚。オリーブ油をベースにした料理が主体です。安全で新鮮な自然の材料を求めて仙台の市場で仕入れています。

「体調がいい」

Q お客様の反応はどんなですか。
A 「ここで食事をする」と、なぜだか体調がいい。ここ数年何の薬も飲んでいないし、体重も変わらない。と、食通って来られる方もいます。私も定期健診では再検査等の指摘を受けましたがなく、町の医療費抑制に貢献しています。



▲食事は健康第一、そしておいしさ

百歳まで元気で

Q 今後の目標は。
A 人生百歳まで、人に迷惑をかけずに一線で働くのは誰しもの夢だと思います。町民にも食事でその手助けをしたいと思っています。



おおみやなか お
大宮仲夫さん(前川西)

企業誘致を

Q 議会に何を望んでいますか。
A 町民が町内で働ける会社を誘致していただきたい。生活の安定と安心を町民に与えられるよう、全力を尽くすよう願っています。

改革を続けて

Q まちづくりに対するご意見は。
A 私はあと20年働くつもりです。農業頼みの町から、どう変革するのか、見続けていきたいと思っています。

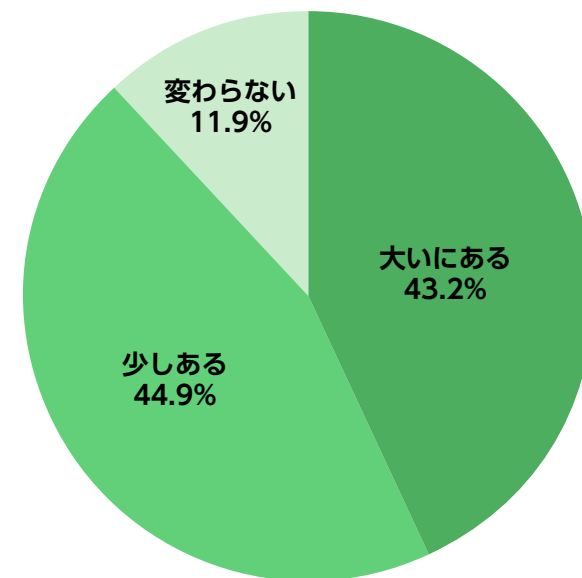


感染症予防などで特に注意していることがありましたら記入願います。

- マスク着用
- 手洗い・消毒の徹底
- 外出・外食自粛
- 会話・接触を控える、ソーシャルディスタンス
- 換気の実施
- 買い物等用事を早めに済ませる
- 宴会・会食自粛
- 体調の変化を注視する、検温の実施
- 安易な噂を流さない
- 外出先施設でのドアノブ等
- 家に人を入れない
- 決まった人にしか会わない など



コロナ禍のなかで生活様式などに変化はありましたか。



特に多かった意見

- 外出の減少や自粛でストレスが溜まる。
- 会話・接触が少なくなりました。
- 予防対策(マスク・消毒等)を徹底しています。
- 収入が減少しました。



町民の皆さまへ

現在、町民の皆さまから直接ご意見をお伺いすることができないことから、アンケート調査という形でご意見を頂戴いたしました。

コロナ禍で、仕事が減った、生活が苦しくなった、感染への不安や生活様式の変化によるストレスなどのほか、今後の不安に対するご意見も多く寄せられました。コロナ関連以外では、人口減少や議会改革に対する忌憚のないご意見もいただきました。

議会広聴・広報委員会では、多くの貴重なご意見を町政に反映させられるよう、議員一丸となり住みよいまちづくりのために、議員活動を進めてまいります。

今後も引き続き、ご協力をお願い申し上げます。

議会広聴・広報委員会より

お知らせ

議会の傍聴について

コロナウイルス感染防止対策として、感染拡大の影響が収束し、安全が確認されるまでの間は、インターネット中継及び役場1階市民ホールでの視聴をお願いします。

詳しくは、町議会のホームページをご覧ください。ご理解とご協力をお願いします。

※次回の会議は6月8日(火)～10日(木)
一般質問は6月8日(火)・9日(水)
午前10時、再開の予定です。

詳しくは、
議会事務局まで

TEL (0224) 84-2301

議会映像配信

議会の様子がご覧いただけます。



「川崎町議会」をクリックし
議会中継を選んでください。



町の風景



桜・水・山 豊かな自然

撮影場所: 釜房湖畔

撮影: 広報モニター 藤原義信さん

表紙の説明「きょうから1ねんせい」

川崎小学校入学式にて

撮影 広報モニター 佐々木 和人さん



発行 川崎町議会 編集 議会広聴・広報委員会
〒989-1592 宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175-1
TEL (0224) 84-2301・FAX 84-6789
E-mail: kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp
印刷 株式会社津田印刷